

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
読売理工医療福祉専門学校		昭和51年6月1日		水落 清治		〒 112-0002 (住所) 東京都文京区小石川1-1-1 (電話) 03-3868-0411																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人読売理工学院		昭和45年1月31日		藤本 昌弘		〒 112-0002 (住所) 東京都文京区小石川1-1-1 (電話) 03-3868-0411																							
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																						
教育・社会福祉	社会福祉課程		介護福祉学科		平成22(2010)年度	-	平成26(2014)年度																						
学科の目的	厚生労働省が指定する科目に沿って、国家資格取得者として実践するにふさわしい知識や技術および人間性を持ちうる人材(専門職)を育成することを目的とする。																												
学科の特徴(取得可能な資格、中退率 等)	介護福祉士国家資格の取得を目指し、充実した設備・環境のもと、座学・演習・実習に取り組むことができる。特に実習は最大8か所の現場体験ができるため、介護福祉活動に必要な基礎から応用までの実践力を身につけることができる。 取得可能な資格:介護福祉士、住環境コーディネーター2級(選択科目)、介護事務管理士(選択科目) 中退率:3.3%																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総 単位数		講義	演習	実習	実験	実技																					
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間																					
			92 単位	76 単位	16 単位	11 単位	0 単位	0 単位																					
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)																								
80 人	48 人		14 人		29 %																								
就職等の状況	■卒業者数(C)		30		人																								
	■就職希望者数(D)		29		人																								
	■就職者数(E)		29		人																								
	■地元就職者数(F)		28		人																								
	■就職率(E/D)		100		%																								
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		96		%																								
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		96		%																								
	■進学者数		1		人																								
	■その他																												
	(令和 6 年度卒業者にに関する令和4年5月1日時点の情報)																												
■主な就職先、業界等																													
(令和5年度卒業生)																													
特別養護老人ホーム、介護老人保健等の介護施設、グループホーム、有料老人ホーム等の居住系施設、その他一般企業等																													
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL																												
当該学科の ホームページ URL	http://www.yomiuririkou.ac.jp/course/welfare/																												
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定) <table><tr><td rowspan="7">総授業時数</td><td colspan="2">単位時間</td></tr><tr><td colspan="2">うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td colspan="2">うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td colspan="2">うち必修授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td colspan="2">うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td colspan="2">うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td colspan="2">(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位時間</td></tr></table>								総授業時数	単位時間		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数		単位時間	うち必修授業時数		単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位時間
	総授業時数	単位時間																											
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位時間																											
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位時間																											
うち必修授業時数		単位時間																											
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位時間																											
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位時間																											
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位時間																											
(B:単位数による算定) <table><tr><td rowspan="7">総授業時数</td><td colspan="2">103 単位</td></tr><tr><td colspan="2">うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>11 単位</td></tr><tr><td colspan="2">うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td colspan="2">うち必修授業時数</td><td>11 単位</td></tr><tr><td colspan="2">うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>11 単位</td></tr><tr><td colspan="2">うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td colspan="2">(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>0 単位</td></tr></table>								総授業時数	103 単位		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		11 単位	うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位	うち必修授業時数		11 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		11 単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位	
総授業時数	103 単位																												
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		11 単位																										
	うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位																										
	うち必修授業時数		11 単位																										
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		11 単位																										
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位																										
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位																										
教員の属性(専任教員について記入)	<table><tr><td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td><td>1 人</td></tr><tr><td>② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td><td>2 人</td></tr><tr><td>③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>計</td><td>0 人</td></tr></table>								① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	1 人	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人	計	0 人									
	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	1 人																											
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	2 人																											
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																											
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																											
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0 人																											
	計	0 人																											
	<table><tr><td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td><td>3 人</td></tr></table>								上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	3 人																			
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	3 人																												